

2018年6月20日

【R&I グリーンボンドアセスメント】

三菱地所株式会社 三菱地所グリーンボンド：GA1 本評価

格付投資情報センター(R&I)は上記の R&I グリーンボンドアセスメントを公表しました。
R&I は予備評価を 2018 年 6 月 12 日に公表しており、今回予備評価を本評価に切り替えました。

【評価対象】

名称	三菱地所株式会社 第 127 回無担保社債 (三菱地所グリーンボンド)
発行体	三菱地所株式会社
発行額	200 億円
R&I グリーンボンド アセスメント	GA1
発行日	2018 年 6 月 26 日
償還日	2023 年 6 月 26 日

【評価理由】

三菱地所は、三菱グループの大手不動産会社。オフィスビル賃貸のほか、マンション分譲や都市開発など、不動産関連の事業を海外も含め幅広く展開している。「ESG の先進企業としての地位確立」を目標に掲げ、開発予定の地域において省エネルギーや生物多様性に配慮した設計を推進する等、環境保全に関わる様々な取り組みを積極的に行っている。

今般こうした活動の一環として、本社債をグリーンボンド原則 (Green Bond Principles) に基づいたグリーンボンドとして発行する。

R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに定める評価方法に従い、本グリーンボンドの調達資金が環境問題の解決に資する事業に投資される程度が非常に高いと判断し、GA1 を付与した。主な評価理由は下記の通りである。

- ・ 本社債で調達された資金は、現在東京駅日本橋口前にて開発中の「東京駅前常盤橋プロジェクト (大手町二丁目常盤橋地区第一種市街地再開発事業)」の A 棟建設資金に全額充当される。本プロジェクトは国家戦略特別区域の認定事業であり、生物多様性などに配慮した大規模広場を整備する等の取り組みがなされている。A 棟は 2021 年 4 月末に竣工予定。A 棟は、建築物の環境認証である DBJ Green Building 認証を取得予定であり、4~5 つ星の高評価が見込まれている。
- ・ R&I は、対象ビルの一次エネルギー消費量をはじめとした省エネルギー性能の計画値が高いことや、取得前であるものの外部の環境認証にて高評価が見込まれることなどを確認し、環境問題の解決に資する度合いは高いと判断した。
- ・ A 棟をグリーンボンドの対象事業とすることは、経理部及び環境・CSR 推進部で部門横断的に検討が進められ、CSR 委員長である執行役社長の決裁を経て決定されている。また、対象事業は当社の長期環境ビジョン等を反映し推進するものとなっている。
- ・ 調達資金は概ね 2 年程度の間に対象事業の建設費に充当される予定である。資金充当状況は四半期毎に経理部にて追跡管理され、経理部担当執行役に報告される。また、資金充当状況は常盤橋開発部にも回覧される。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラスクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&I グリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務 (信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務) です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&I グリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメント (変更・取り下げ等を含む) に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&I グリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

- ・ レポーティングは毎年調達資金の充当状況が開示される予定。また、対象ビルを含め、三菱地所が環境管理の国際規格である ISO14001 に則り運営管理するビルのポートフォリオベースでの環境改善効果が開示される予定である。今回グリーンボンドの資金使途となるビルの状況については、守秘義務の範囲内で開示が予定されている。
- ・ 三菱地所は1994年に社会環境室を設立し、2004年に環境基本方針を制定した。また、1999年に総合デベロッパーとしては初めてISO14001の認証を取得するなど、早くから環境活動への取組体制を構築している。開発予定及び保有不動産において省エネルギーの取組を進めるほか、敷地内に緑地を整備する等の生物多様性の保全に力を入れている。

なお、上記を総合的に勘案し、R&I は、本グリーンボンドがグリーンボンド原則に則った債券であると考えている。

本グリーンボンドに対して R&I は本アセスメントに加えて信用格付を付与している。詳細は、<https://www.r-i.co.jp/rating/issuers/008050/8802/index.html> 参照。

R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&I グリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&I グリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメント（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&I グリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

1. 調達資金の使途 : Use of Proceeds

グリーンボンドの調達資金が、環境問題の解決に資する事業に投資されるためには、まず調達資金の充当先である対象事業が、環境問題の解決に資する事業である必要がある。

本グリーンボンドにおける調達資金の使途は、下記の通り。

事業区分	事業名	充当割合
グリーンビルディング	「東京駅前常盤橋プロジェクト (大手町二丁目常盤橋地区第一種市街地再開発事業)」 A 棟建設資金	100%

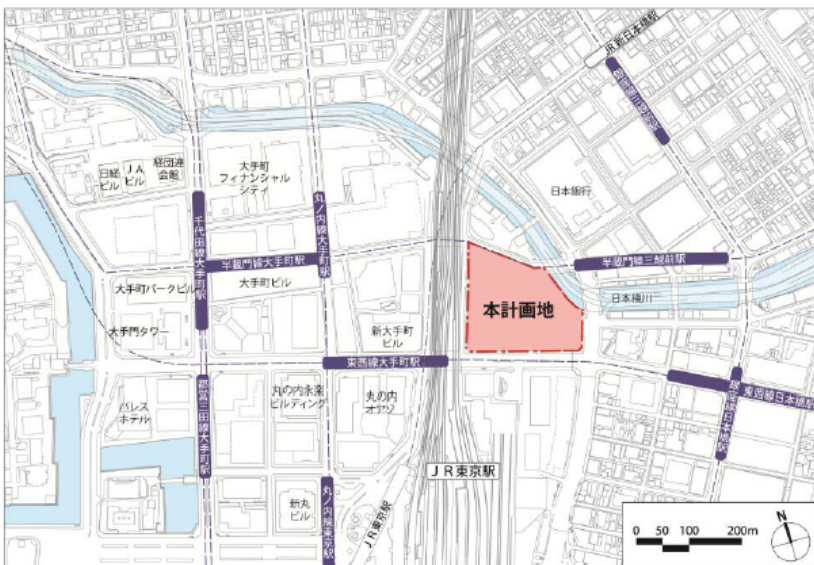
【対象事業の概要】

「東京駅前常盤橋プロジェクト (大手町二丁目常盤橋地区第一種市街地再開発事業)」 (以下、常盤橋プロジェクト) は、東京駅日本橋口前にて開発中の、総敷地面積約 3.1ha に及ぶ大規模複合再開発プロジェクトである。本プロジェクトは、国家戦略特別区域の認定事業であり、街区内のインフラの機能を維持・更新しながら 10 年超の事業期間をかけて進める。

グリーンボンドの調達資金は、本プロジェクトのうち既に着工済みであり、2021 年 4 月末に竣工を予定している A 棟の建設資金に全額充当される。また A 棟建設に合わせて、2027 年街区全体竣工時に整備予定の約 7000 m²の大規模広場のうち、約 3000 m²が先行整備される。

常盤橋プロジェクト及び A 棟の配置図、A 棟の概要は下記の通りである。

【案内図】



【A 棟竣工時配置図】



(出所) 発行体開示資料より転載

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラスクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&I グリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務 (信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務) です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&I グリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメント (変更・取り下げ等を含む) に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&I グリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

【A棟の概要】

項目	内容
主要用途	事務所、店舗、駐車場等
延べ面積	約 146,000 m ²
階数/最高高さ	地上 40 階、地下 5 階/約 212m
着工	2018 年 1 月
竣工	2021 年 4 月末
設計監理	三菱地所設計
施工	戸田建設
主な環境への配慮	DHC(地域冷暖房)熱利用 太陽光パネルの設置 自動調光機能付の LED の採用 等
主な環境認証等	DBJ Green Building 認証 4~5 つ星 (予定) 東京都建築物環境計画制度 (PAR,ERR) 段階 3 CASBEE 自己評価 S ランク相当 (設計時自己評価) このほか SITES®認証、ABINC (いきもの共生事業所) 認証の取得を目指す
省エネルギー性能	一次エネルギー消費量…ERR : 37% 外皮性能…PAL*低減率 : 29%

(出所) 発行体資料より R&I 作成

【評価】

本ビルの調達資金は、常盤橋プロジェクト A 棟建設資金に全額充当される予定である。A 棟は、省エネルギーや生物多様性等の環境に配慮した設計となっている。

R&I は、対象ビルの環境問題の解決に資する程度を判断するに当たり、対象ビルの環境性能を確認し、一次エネルギー消費量及び外皮性能の水準が、同時期に建築された日本の一般的なビルと比較して高いと判断した。

また本ビルは DBJ Green Building 認証を取得予定であり、4~5 つ星の高評価が見込まれている。DBJ Green Building 認証は、一定レベル以上の環境・社会への配慮がなされた不動産を評価対象とし、その評価対象に 5 段階評価を行い 1 つ星~5 つ星の認証をつけているものであり、市場における認知度が相応に高い。現状未取得ではあるものの、A 棟で取得見込みの 4~5 つ星の水準は、高水準と判断できる。

さらに常盤橋プロジェクトでは、生物多様性に配慮した大規模公園の設置、国内の都心複合ビル開発プロジェクトでは初となる SITES®認証取得を目指す等、環境に配慮した様々な取り組みがなされていると考えられる。

以上より、本グリーンボンドの資金使途は、環境問題の解決に資する程度が高いと判断した。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラスクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&I グリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&I グリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメント（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&I グリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

2. プロジェクトの評価と選定のプロセス : Process for Project Evaluation and Selection

グリーンボンドの調達資金が、環境問題の解決に資する事業に投資されるためには、発行体がなぜ対象事業を環境問題に資する事業であると考え、どのようにして選定したのかというプロセスが、明確かつ合理的である必要がある。

【三菱地所における当該プロセスの概要】

三菱地所は、「住み・働き・憩う方々に満足いただける、地球環境にも配慮した魅力あふれるまちづくりを通じて、真に価値ある社会の実現に貢献する」ことを基本使命とし、ビルの設計、建設、維持管理の各段階において、環境負荷低減に向けた様々な取り組みを行っている。また環境基本方針に基づき2020年、2050年に実現する姿を長期環境ビジョンとして策定しているほか、中長期経営計画においても環境への先進的な取り組みにより持続可能な成長を目指す旨が掲げられている。

常盤橋プロジェクトでは、こうした理念、戦略に基づき、省エネルギーや生物多様性に配慮した設計がなされている。

また本プロジェクトの実施にあたり想定される潜在的にネガティブな環境面・社会面の影響としては、建設工事の際に生じる騒音・振動・粉塵、労働災害・事故の発生等が挙げられる。これらに対しては、東京都環境影響評価条例に基づいた環境アセスメントが実施されているほか、CSR調達ガイドラインに基づく建設業者の選定や、グリーン調達ガイドラインに基づく資機材の調達、工法等の採用がなされている。

A棟の建設資金をグリーンボンドの調達資金の用途とすることは、経理部及び環境・CSR推進部で部門横断的に検討が進められ、CSR委員長である執行役社長の決裁を経て決定された。

【評価】

三菱地所は基本使命、環境基本方針に基づき、長期ビジョンや中長期経営戦略を策定し、事業活動の中で環境配慮の取り組みを進めており、対象ビルはこうした方針の中で設計、開発がなされている。

また、本ビルをグリーンボンドの対象事業とすることは、環境専門部署やCSR委員長である執行役社長の確認を経て決定しており、適切な組織内の決裁手続きが取られている。

なお本プロジェクトの実施にあたり想定される潜在的にネガティブな環境面・社会面の影響に対しては、三菱地所は東京都の環境アセスメントの実施やCSR調達ガイドラインに基づく建設業者の選定等により十分な配慮を行っている。

以上より、本グリーンボンドの対象事業の選定のプロセスは、明確かつ合理的であり、優れていると評価した。

3. 調達資金の管理 : Management of Proceeds

グリーンボンドの調達資金が、環境問題の解決に資する事業に投資されるためには、調達資金が他の事業に使われず、確実に対象事業に充当される必要がある。

【三菱地所における調達資金の管理方法の概要】

三菱地所は、本グリーンボンドで調達した資金を、建設費用が発生する都度経理部にて充当を行い、概ね2年程度の間に対象事業に全額充当する予定である。資金充当状況は四半期毎に経理部にて追跡管理され、経理部担当執行役に報告される。また、資金充当状況は常盤橋開発部にも回覧される。

未充当資金は、現金または現金同等物にて保管される予定である。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地 テラスクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&Iグリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&Iグリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、R&Iグリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、R&Iグリーンボンドアセスメント（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

【評価】

本グリーンボンドの調達資金は、概ね2年程度の間に対象事業に全額充当される。充当状況については三菱地所の社内手続きに沿って、四半期ごとに適切な追跡管理が行われ、経理部担当執行役に報告される予定である。また、未充当資金は流動性の高い資産で管理される。

以上より、本グリーンボンドの調達資金管理の枠組みは優れていると評価した。

4. レポーティング : Reporting

グリーンボンドの調達資金が、調達後環境問題の解決に資する事業に投資されたことが明らかとなるためには、どのような事業にいつ充当され、その結果どのような環境改善効果があったかを、発行体がレポーティングすることが期待される。

【三菱地所におけるレポーティング方法の概要】

三菱地所は、下記項目についてレポーティングを行う予定である。

＜資金充当状況レポーティング＞

(資金充当が完了するまで毎年、ウェブサイト上にて開示)

- ▶ 調達資金のうち、対象事業に充当した合計額

＜インパクト・レポーティング＞

(グリーンボンドが償還されるまで毎年、ウェブサイトおよびCSR報告書にて)

- ・ 「三菱地所 ISO14001 対象ビル」ポートフォリオベースでの環境改善効果
 - ▶ エネルギー使用量 ([J/kl])
 - ▶ CO2 排出量 (t)
 - ▶ エネルギー種類別使用実績 (%)
 - ▶ 水道使用量 (m³)
 - ▶ 廃棄物総量 (kg)
 - ▶ リサイクル率 (%)

また、常盤橋プロジェクトの状況については、守秘義務の範囲内で、ウェブサイト上に開示される予定である。

【評価】

本グリーンボンドのレポーティングは、資金充当状況及びポートフォリオベースのインパクトレポーティングが、毎年行われる予定である。また、常盤橋プロジェクトの状況については守秘義務の範囲内で開示される予定である。

以上より、本グリーンボンドに関するレポーティングは、内容、頻度の面から優れていると評価した。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&I グリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&I グリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメント（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&I グリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

5. 発行体の環境活動 : Issuer's environmental contribution activities

グリーンボンドの調達資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度は、発行体の環境活動への取組み姿勢や取組み実績が影響すると考えられる。これは、環境活動に関心が高く実績のある発行体の方が、調達資金を環境問題の解決に資する事業に充当し、遂行する可能性が高いと考えるためである。

【三菱地所の環境活動の概要】

三菱地所は、1994年に社会環境室を設立し、2004年に環境基本方針を制定した。また、1999年に総合デベロッパーとしては初めてISO14001の認証を取得している。

環境に関する全社的な組織は、現在CSR委員会及びその事前協議機関である環境・CSR協議会が設置されている。CSR委員会は、執行役社長を委員長とし、原則年2回、環境に関する重要な事項や各組織の環境への取組み状況、環境目標などについて討議、共有している。

三菱地所は、事業活動を通じた環境保全に力を入れており、管理ビルの省エネルギー推進や、丸の内エリアのビル敷地内に緑地を設け生物多様性に配慮する等の取組を行っている。

また、こうした活動を一層推進すべく2018年4月には国連グローバル・コンパクトに署名した。

三菱地所の環境活動については、ウェブサイトおよびCSR報告書にて開示がなされている。

【評価】

三菱地所は早くから環境活動の取組体制を構築し、相応の実績を有しており、国内の不動産会社の中で積極的な取組を行っている。以上より、三菱地所の環境活動への取組姿勢は優れていると判断した。



■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp






■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地 テラスクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&Iグリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&Iグリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、R&Iグリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、R&Iグリーンボンドアセスメント（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

【総合評価】

R&I は R&I グリーンボンドアセスメントに則り、本社債の評価を行った。各項目における評価は、下記の通り。各項目を 5 段階で評価し、 (最上位) から  (最下位) で表示している。

項目	評価	概要
調達資金の用途		対象となる不動産の環境性能の計画値の水準が高く、現状未取得ではあるものの高水準の環境認証の取得が見込まれていることから、環境問題の解決に資する程度は高いと考えられる。
プロジェクトの評価と選定のプロセス		選定理由や選定を行うための体制は妥当であり、対象事業の選定のプロセスは優れていると考えられる。
調達資金の管理		調達資金管理の枠組みは定められており、調達資金管理の枠組みは優れていると考えられる。
レポートニング		レポートニングは、内容、頻度の面から優れていると考えられる。
発行体の環境活動		三菱地所の環境に関する体制は早くから整えられ、相応の実績を有しており、国内の不動産会社の中で積極的な取組みを行っている。発行体の環境活動への取組み姿勢は、優れていると考えられる。

各項目の評価を基に総合評価を行い、R&I は評価対象のグリーンボンドの調達資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度が非常に高いと判断し、GA1 を付与した。

R&I グリーンボンドアセスメントの評価方法は以下のホームページに公開されています。

https://www.r-i.co.jp/rating/products/green_bond/assessment.html

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラスクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&I グリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&I グリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメント（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&I グリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

R&IのR&Iグリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対するR&Iの意見です。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

R&Iグリーンボンドアセスメントは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&IはR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&IがR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものであるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&Iは、資料・情報の不足や、その他の状況により、R&Iの判断でR&Iグリーンボンドアセスメントを保留したり、取り下げたりすることがあります。

R&Iは、R&IがR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報、R&IのR&Iグリーンボンドアセスメントその他の意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やR&Iグリーンボンドアセスメントの使用、あるいはR&Iグリーンボンドアセスメントの変更・保留・取り下げ等に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補填損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むものとします）について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとします。R&Iグリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。

R&Iが評価対象の評価に用いる評価方法は、R&Iが独自の分析、研究等に基づいて作成したR&Iの意見の表明にすぎず、R&Iは、評価方法の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。また、R&Iは、評価方法の開示によって、いずれかの者の投資判断や財務等に関する助言を行い、又は投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、評価方法の内容、使用等に関して使用者その他の第三者に発生する損害等につき、請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、何ら責任を負いません。評価方法に関する一切の権利・利益（特許権、著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、R&Iに帰属します。R&Iの事前の書面による許諾無く、評価方法の全部又は一部を自己使用の目的を超えて使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）し、又は使用する目的で保管することは禁止されています。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地 テラスクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&Iグリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&Iグリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、R&Iグリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、R&Iグリーンボンドアセスメント（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

グリーンボンド／グリーンボンド・プログラム

外部レビューフォーム

セクション 1. 基本情報

発行体名：三菱地所株式会社

グリーンボンドの ISIN 又は 発行体のグリーンボンド発行に関するフレームワーク名 (該当する場合)：

レビュー実施者名：格付投資情報センター

本フォーム記入完了日：2018年6月20日

レビュー発表日：2018年6月20日

セクション 2. レビュー概要

レビュー範囲

必要に応じて、レビューの範囲を要約するために以下の項目を利用又は採用する。

本レビューでは、以下の要素を評価し、グリーンボンド原則 (以下、GBP) との整合性を確認した：

- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 調達資金の用途 | <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトの評価と選定のプロセス |
| <input checked="" type="checkbox"/> 調達資金の管理 | <input checked="" type="checkbox"/> レポーティング |

レビュー実施者の役割

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> コンサルティング (セカンドオピニオンを含む) | <input type="checkbox"/> 認証 |
| <input type="checkbox"/> 検証 | <input checked="" type="checkbox"/> レーティング (格付け) |
| <input type="checkbox"/> その他 (ご記入ください)： | |

注記：複数のレビューを実施又は異なる複数のレビュー実施者が存在する場合、それぞれ別々の用紙にご記入ください。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&I グリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務 (信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務) です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&I グリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメント (変更・取り下げ等を含む) に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&I グリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

レビューのエグゼクティブサマリオよび／またはレビュー全文へのリンク（該当する場合）

R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに定める評価方法に従い、本グリーンボンドの調達資金が環境問題の解決に資する事業に投資される程度が非常に高いと判断し、GA1 を付与した。
レビュー全文は、本リリースの本文を参照。

セクション 3. レビュー詳細

レビュー実施者には可能な限り以下の情報を提供し、レビュー範囲を説明するためにコメントセクションを利用するよう推奨する。

1. 調達資金の使途

セクションに関する全般的なコメント（該当する場合）：

本ビルの調達資金は、常盤橋プロジェクト A 棟建設資金に全額充当される予定である。A 棟は、省エネルギーや生物多様性等の環境に配慮した設計となっている。

R&I は、対象ビルの環境問題の解決に資する程度を判断するに当たり、対象ビルの環境性能を確認し、一次エネルギー消費量及び外皮性能の水準が、同時期に建築された日本の一般的なビルと比較して高いと判断した。

また本ビルは DBJ Green Building 認証を取得予定であり、4～5 つ星の高評価が見込まれている。DBJ Green Building 認証は、一定レベル以上の環境・社会への配慮がなされた不動産を評価対象とし、その評価対象に 5 段階評価を行い 1 つ星～5 つ星の認証をつけているものであり、市場における認知度が相応に高い。現状未取得ではあるものの、A 棟で取得見込みの 4～5 つ星の水準は、高水準と判断できる。

さらに常盤橋プロジェクトは、生物多様性に配慮した大規模公園の設置、国内の都心複合ビル開発プロジェクトでは初となる SITES® 認証取得を目指す等、環境に配慮した様々な取り組みがなされていると考えられる。

以上より、本グリーンボンドの資金使途は、環境問題の解決に資する程度が高いと判断した。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラスクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&I グリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&I グリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメント（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&I グリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

GBP による調達資金の使途カテゴリ：

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 再生可能エネルギー | <input type="checkbox"/> エネルギー効率 |
| <input type="checkbox"/> 汚染防止および管理 | <input type="checkbox"/> 生物自然資源および土地利用に係る環境持続型管理 |
| <input type="checkbox"/> 陸上および水生生物の多様性の保全 | <input type="checkbox"/> クリーン輸送 |
| <input type="checkbox"/> 持続可能な水資源および廃水管理 | <input type="checkbox"/> 気候変動への適応 |
| <input type="checkbox"/> 高環境効率商品、環境適応商品、環境に配慮した生産技術およびプロセス | <input checked="" type="checkbox"/> グリーンビルディング（環境配慮型ビル） |
| <input type="checkbox"/> 発行時には知られていなかったが現在 GBP カテゴリへの適合が予想されている、又は、GBP でまだ規定されていないその他の適格分野 | <input type="checkbox"/> その他（ご記入ください）： |

GBP の事業区分に当てはまらない場合で、環境に関する分類がある場合は、ご記入ください：

2. プロジェクトの評価と選定のプロセス

セクションに関する全般的なコメント（該当する場合）：

三菱地所は基本使命、環境基本方針に基づき、長期ビジョンや中長期経営戦略を策定し、事業活動の中で環境配慮の取り組みを進めており、対象ビルはこうした方針の中で設計、開発がなされている。

また、本ビルをグリーンボンドの対象事業とすることは、環境専門部署や CSR 委員長である執行役社長の確認を経て決定しており、適切な組織内の決裁手続きが取られている。

なお本プロジェクトの実施にあたり想定される潜在的にネガティブな環境面・社会面の影響に対しては、三菱地所は東京都の環境アセスメントの実施や CSR 調達ガイドラインに基づく建設業者の選定等により十分な配慮を行っている。

以上より、本グリーンボンドの対象事業の選定のプロセスは、明確かつ合理的であり、優れていると評価した。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラスクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&I グリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&I グリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメント（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&I グリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

評価と選定

- | | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 十分な発行体の環境面での持続可能性に係る目標がある | <input checked="" type="checkbox"/> 文書化されたプロセスにより、定義された事業区分にプロジェクトが適合すると判断される |
| <input checked="" type="checkbox"/> グリーンボンドの適格プロジェクトを定義した透明性の高いクライテリアがある | <input checked="" type="checkbox"/> 文書化されたプロセスにより、プロジェクトに関連する潜在的な ESG リスクは特定・管理される |
| <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトの評価と選定のためのクライテリアの概要が、公表される | <input type="checkbox"/> その他（ご記入ください）： |

責任およびアカウンタビリティに関する情報

- | | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 外部機関の助言または検証を受けた評価／選定基準である | <input type="checkbox"/> 組織内で定められた評価基準である |
| <input type="checkbox"/> その他（ご記入ください）： | |

3. 調達資金の管理

セクションに関する全般的なコメント（該当する場合）：

本グリーンボンドの調達資金は、概ね 2 年程度の間に対象事業に全額充当される。充当状況については三菱地所の社内手続きに沿って、四半期ごとに適切な追跡管理が行われ、経理部担当執行役に報告される予定である。また、未充当資金は流動性の高い資産で管理される。
以上より、本グリーンボンドの調達資金管理の枠組みは優れていると評価した。

調達資金の追跡管理：

- | |
|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> グリーンボンドの調達資金は、発行体により適切な方法で分別又は追跡管理される |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未充当資金について、想定される一時的な運用方法の種類が開示される |
| <input type="checkbox"/> その他（明記ください）： |

追加的な開示：

- | | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 将来の投資にのみ充当 | <input type="checkbox"/> 既存および将来の投資に充当 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 個別単位の支出に充当 | <input type="checkbox"/> ポートフォリオ単位の支出に充当 |
| <input type="checkbox"/> 未充当資金のポートフォリオを開示する | <input type="checkbox"/> その他（ご記入ください）： |

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&I グリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&I グリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメント（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&I グリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

4. レポーティング

セクションに関する全般的なコメント (該当する場合):

本グリーンボンドのレポーティングは、資金充当状況及びポートフォリオベースのインパクトレポーティングが、毎年行われる予定である。また、常盤橋プロジェクトの状況については守秘義務の範囲内で開示される予定である。

以上より、本グリーンボンドに関するレポーティングは、内容、頻度の面から優れていると評価した。

調達資金の用途に関するレポーティング:

- | | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト単位 | <input type="checkbox"/> プロジェクトポートフォリオ単位 |
| <input type="checkbox"/> 個別債券単位 | <input type="checkbox"/> その他 (明記ください): |

レポーティングされる情報:

- | | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 充当した資金の額 | <input type="checkbox"/> 投資総額に占めるグリーンボンドによる調達額の割合 |
| <input type="checkbox"/> その他 (明記ください): | |

頻度:

- | | |
|--|--------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 年次 | <input type="checkbox"/> 半年に一度 |
| <input type="checkbox"/> その他 (明記ください): | |

環境改善効果に関するレポーティング:

- | | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト単位 | <input type="checkbox"/> プロジェクトポートフォリオ単位 |
| <input type="checkbox"/> 個別債券単位 | <input checked="" type="checkbox"/> その他 (明記ください):「三菱地所 ISO14001 対象ビル」ポートフォリオベース |

頻度:

- | | |
|--|--------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 年次 | <input type="checkbox"/> 半年に一度 |
| <input type="checkbox"/> その他 (明記ください): | |

レポーティングされる情報 (計画又は実績):

- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガス排出量/削減量 | <input type="checkbox"/> エネルギー削減量 |
| <input type="checkbox"/> 水使用量の減少 | <input checked="" type="checkbox"/> その他 ESG 指標 (明記ください): エネルギー使用量、エネルギー種類別使用実績、水道使用量、廃棄物総量、リサイクル率 |

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラスクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&I グリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務 (信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務) です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&I グリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメント (変更・取り下げ等を含む) に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&I グリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

開示方法

- 財務報告書に掲載
- サステナビリティ報告書に掲載
- 臨時に発行される文書に掲載
- その他 (明記ください): ウェブサイト
- レポーティングは外部レビュー済 (該当する場合は、レポートのどの部分が外部レビューの対象であるか明記してください):

該当する場合は、「有益なリンク」のセクションに、報告書の名称、発行日を明記してください。

有益なリンク (例えば、レビュー実施者の評価方法や実績、発行体の文書等。)

R&I グリーンボンドアセスメント評価方法
https://www.r-i.co.jp/rating/products/green_bond/assessment.html

該当する場合は、利用可能なその他外部レビューをご記入ください

実施されるレビューの種類:

- コンサルティング(セカンドオピニオンを含む)
- 検証/ 監査
- その他 (ご記入ください):
- 認証
- レーティング (格付け)

レビュー実施者: Sustainalytics

発表日: 2018年5月18日

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラスクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&I グリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務 (信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務) です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&I グリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメント (変更・取り下げ等を含む) に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&I グリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

GBP で定義された外部レビュー機関の役割について

- (i) コンサルタント・レビュー：発行体は、グリーンボンド・フレームワークの策定やレビュー等に関して、環境面での持続可能性やグリーンボンドの発行に関する他の分野において、一般に認められた専門性を有するコンサルタントや機関から、アドバイスを受けることができる。「セカンド・オピニオン」はこの区分に属する。
- (ii) 検証：発行体は、グリーンボンドやそれに関連するグリーンボンド・フレームワーク、又は原資産について、監査機関等の資格を有する機関から独立した検証を受けることができる。認証と違い、検証は、発行体が作成した内部基準や要求との適合性に焦点を当てることがある。原資産の環境面での持続可能性に係る特徴についての評価を検証と称し、外部クライテリアを参照することがある。
- (iii) 認証：発行体は、グリーンボンドやそれに関連するグリーンボンド・フレームワーク、または調達資金の用途について、外部のグリーンアセスメント基準への適合性に係る認証を受けることができる。アセスメント基準はクライテリアを定義したもので、この基準に適合しているかを、資格を有する第三者機関や認証機関が確認する。
- (iv) レーティング（格付け）：発行体は、グリーンボンドやそれに関連するグリーンボンド・フレームワークについて、専門的な調査機関や格付機関の資格を有する第三者機関の格付けを受けることができる。グリーンボンドの格付けは、発行体の ESG 格付けからは切り離されたもので、個別の証券やグリーンボンドのフレームワークやプログラムを対象とするのが一般的である。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&I グリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&I グリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメント（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&I グリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。